

時

令和7年 5月 25日(日) 午後一時〇〇分～四時十五分

参加費

三,〇〇〇円

締切り

令和7年五月十九日(月)のお振込み分まで。

処

鎌倉、円覚寺塔頭「帰源院」
JR 横須賀線「北鎌倉駅」徒歩4分

申込み

ゆうちょ銀行の「払込取扱票」に◎郵便番号◎◎住所◎◎姓名◎、口座番号
《00190121678886》加入者名《鎌倉漱石の会》を明記の上、
参加費三,〇〇〇円をお振込みになれば、申込みは完了となります。

問合せ

鎌倉漱石の会・事務局 e-mail:j.oseki.soc.100@gmail.com
080-55333-2250

※お申込みの方には、「払込取扱票」記載の住所へ、5月7日以降順次「参加票」ハガキを、お送り致します。

読む 聴く

『道草』

『道草』初版本表紙(大正4年発行)



主人公・健三の兄は「一派手好きで勉強嫌いであつた」。三味線を弾いたり、「絃琴を習つたり」(三十四)

【作品読解】

長島 裕子

(秀明大学客員教授)

松下 浩幸

(明治大学教授)

【司会・進行】

菅佐原 智治

(鎌倉漱石の会)

聴く

【一絃琴演奏】

正曲 一絃琴白鷺会

(高知県無形文化財保持団体)

森本 和子

長山 由里香

井上 由利子

読む

聴く

【主催】鎌倉漱石の会

【協力】新宿区立漱石山房記念館

彼の身体には新しく後に見捨てた遠い国の臭がまだ付着してゐた。彼はそれを忌んだ。一日も早く其臭を振り落さなければならぬと思つた。さうして其臭のうち潜んでゐる彼の誇りと満足には却つて気が付かなかつた。

